

『時事直言』 No.1674 2024年5月30日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t_masuda2019/



時事評論家 増田俊男

もしトラともしバイ (米大統領トランプの場合とバイデンの場合)

トランプが大統領に返り咲いた場合とバイデン継続の場合、世界と日本にどんな影響が及ぶか。

小冊子 Vol.141 で解説することにした。

題目は下記の通りである。

- * ディープ・ステート(アメリカの影の支配者)との二人の関係
- * まるで異なるトランプとバイデンの国際外交政策・戦略
- * トランプとバイデンの異なったウクライナ戦争観
- * イスラエル・ハマス戦争におけるトランプとバイデンのイスラエル支援基本的相違
- * トランプとバイデンの全く異なる金融・財政政策
- * 市場はトランプとバイデンのどちらを選ぶか
- * 日本の国益にとってトランプとバイデンのどちらがいいか

トランプはディープ・ステートと対立しているポーズを取りながら実は急進的支持者であり、バイデンはディープステートの言いなりになる代理人である。

トランプはディープ・ステートを敵と見せかけ実は積極的に支持する。

ディープ・ステートはトランプとバイデンのどちらを選ぶだろうか。

トランプはウクライナ戦争を Scrap and build(復興需要創造のための破壊)の観点から、そしてバイデンは民主主義の為に支援する。

バイデンはネタニヤフ(イスラエル首相)に嫌われ、トランプは愛される。

ドルを使って世界を支配してきたユダヤ資本は、今度は金を使って世界を支配しようとしていることを知り金本位制を主張するトランプ。

日本の憲法はアメリカが作ったと言って GHQ を引きずるバイデン。

日本がカネさえ払えば米軍を日本の雇い兵にすることも辞さないトランプ。

戦後の対米従属の伝統(バイデン)に従うか、カネでアメリカを使うか、それが日本に問われる時が来る。

アメリカの大統領選は、「他人ごとではない」ことを知るべきである。

必読小冊子 Vol.141

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。